

発行 郵政産業労働者ユニオン
岡山支部
連絡先 岡山市北区中山下2-1-1
岡山中央郵便局 5階
郵送先 700-8799 私書箱222号



おかやま

ユニオンへの加入＆相談は、伊藤、小野（1集）、鐘推（4集）、中原（邑久）まで。

「社員を大事にする会社」ですか？

熱中対策は「保身」ですか？

年々暑さが増す昨今、今回の熱中症対策はいかがだったでしょうか？1時間早く出勤し暑さがマシなうちに配達を、という考えは一定の理解は得られますが、一方で「明日は2パスの物数が少ないから翌日準備は超動してまでせず退勤せよ」といった指示はいかがなものかと思えます。翌日の出発がその分遅れ、暑い時間帯に配達することになるのですから。「結局超動削減の事しか考えていない」と嘆きの声も聞かれます。一方で「明日は支社の方が来られるから整理整頓の超動は構わない」と言われた。結局は管理者・役職者の保身か」と怒りの声も聞かれました。

結局は「労働強化」

それでも翌日は早く出発したいので「隠れてタ

ダ働き」がまた増えつつあるのはご存じでしょうか？まあ、現場管理者・役職者は見て見ぬふりでしょうけど。1人あたりの配達エリアが増える「新たな減区指示」も「相変わらずの会議多発」も「週2〜3回の2区減」も「辞めても補充する気が全くない」も、結局は「労働強化」「現場の状況を全く把握していない」「経費削減して自身の出世しか考えていない」と現場は思っています。そして近付く新人事務給与制度と併せると「現場を安い給料でこき使おうとしている」と思えない」と怒りの声も聞かれます。

保身というより体質か？

現在「暑さ指数3.5」「災害レベル5」で配達中止だそうです。これは「命の危険」の数字だと思いますが、本当に社員を大事に思っている

なら、その手前で中止すべきではないでしょうか？岡山郵便局は、経費削減の為なのか、安易にウォータースーパーを撤去し、代わりに冷えていない飲料水を配布したと聞く限り、とても大事に思っているとは言えません。パケット区分機を導入し誤送が増え、誤送の責任追及の為に労災事故の時には要請しても確認しなかった防犯カメラを利用しているそうですが「保身」というより「体質」なのかもしれません。

バイクの小包兼配の現状は

小包をバイクに配達させるため、集配現場を知らない岡山郵便局の社員が区分し、確認もせず集配役職者がそのまま配達担当者に交付しています。が、果物や幼虫や80サイズの小包も混ざり、カタログゆうメールと併せて積載している現状はこ

存じですか？パケット区分機が導入され逆に忙しさが増した岡山郵便局社員の人員をそこに回す、そのまま交付された小包とカタログゆうメールや箱物パケット等が混ざれば品質はどうなるか一目瞭然です。外装は重いカタログに挟まれへこみ、不在の場合は積み替え、またカタログに挟まれ更にへこむ。時間がかり超動もしくはタダ働きも増える、といった現状です。「重さだけ測ればヨシ」ではありません。よ？以前から「フタが閉まらない状況での走行は良くない」と指摘してききましたが、そこを無視し続けている状況は、社員の気持ちを考えていると言えますか？そもそも小包受託業者との契約は、エリアを任せるものと思っていたのですが、そこも無視しているのか、と疑念を抱かざるを得ません。

必要な事故事例研究会？

先日の事故事例研究会では、車に当たっていないと当該社員は主張しているのにお題は「物損事故」。参加者からは「当たっていてもあの箇所にキズは付かないだろう」との声も。当たっていないのに当たった事にしたいのか、当たっていないが誤解される所を通ったのが悪いと言いたいのか定かではありません。それでも当該社員は変わらず3つの班をわけもちする業務は変わらずです。交通事故を複数起こしても業務を押し付けた上に雇い止めにし、その後裁判で負けた時と何ら変わっていないように思えます。社員を大事に思うなら、まずは業務を改善してはいかがでしょうか？「相手の圧力に屈した」「会社は責任を転嫁する体質だ」と疑われないようお願いします。

大幅増員と早期の兼配解消を求めよう！／組合加入は郵政ユニオンへ！

